

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

847

保育所給食献立管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	3	生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成
施策	2	健やかな体を育む教育の推進
取組方針	3	食育の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	民生費		
	項	児童福祉費		
	目	児童保育費		
	大事業	児童保育事業		
中事業	保育所給食献立管理事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	保育こども園課	児嶋 晃義 435-1064
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	保育所給食の栄養管理をO化し、児童の健康管理、心身発達、衛生面等の改善を図る。		保育所入所児童の給食管理は、心身の発達等において不可欠なものであり、適切な管理を行うことにより、児童福祉の向上を図る。			
事業内容	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	
	給食献立作成、給食だより、給食日誌、栄養日報、栄養摂取量等の配布及び菓子等一括購入管理	給食献立作成、給食だより、給食日誌、栄養日報、栄養摂取量等の配布及び菓子等一括購入管理	給食献立作成、給食だより、給食日誌、栄養日報、栄養摂取量等の配布及び菓子等一括購入管理	給食献立作成、給食だより、給食日誌、栄養日報、栄養摂取量等の配布及び菓子等一括購入管理	給食献立作成、給食だより、給食日誌、栄養日報、栄養摂取量等の配布及び菓子等一括購入管理	給食献立作成、給食だより、給食日誌、栄養日報、栄養摂取量等の配布及び菓子等一括購入管理

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	40	40	40	40	41	41	41	0	41	0
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	2.5%	2.5%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	3,597	3,597	3,464	3,625	3,504	3,345	2,628	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3,597	3,597	3,464	3,625	3,504	3,345	2,628	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	40	40	40	40	41	41	41	0	41	0
所要人数(人)	正規職員	0.45	0.45	0.43	0.45	0.44	0.42	0.33	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	委託料 41千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	献立作成日数	日	目標値	283	284	283	283	283
			実績値	283	281	283		
			達成度(%)	100%	98.9%	100%	%	%
活動指標	給食だより作成月数	月	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
成果指標	給食日誌、献立等配布保育所(園)数	所(園)	目標値	62	63	61	61	61
			実績値	62	62	61		
			達成度(%)	100%	98.4%	100%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	食育活動の充実、食への安全性、アレルギー対応など課題は多い。栄養管理ソフトの購入によりコストダウンを図っている。
見直し・改善内容	食育活動の充実、食への安全性、アレルギー対応などに取り組んでいく。